

リスクと機会

保土谷化学グループは、社内外の環境変化を踏まえ、価値創造に影響を及ぼす重要な社会課題を特定するため、それに関連するリスクと機会を時間軸ごとに抽出しました。リスクと機会を明確化し、関連資本ごとに分類することで、取り組むべき経営課題を特定しております。リスクに適切に対応し、また機会を活かしつつ、社会課題に取り組むことで、さらなる価値創造の実現につなげてまいります。

社内外の環境変化	リスク	機会	マテリアリティ
成長投資・事業運営 - 強固なビジネス基盤の構築 - 新領域の開拓による事業機会の拡大  関連する資本   	- 市場環境悪化による利益の減少 - 新たな技術・商品・サービスの出現、新規参入を含む競争激化などによる利益の減少 - M&A実行後の事業環境悪化、PMIの遅延	- 独創・協創を活かした新しい事業機会への進出 - 新技術・新製品による需要創出・成長機会の獲得 - 新たな経営資源獲得による、事業領域の拡大や事業構造の転換	- オリジナリティ溢れる事業ポートフォリオ - PBR 1倍割れ改善 - 技術優位の維持 - 次世代の基盤技術の構築、新規事業の創出
地球環境 - 大きな経済問題に転じる地球環境問題の不確実性 - 気温上昇シナリオに基づくレジリエンス向上が必須  関連する資本   	- 自然災害の激甚化による人・設備への影響 - 保全コスト拡大 - 環境への未配慮や国内外の法令等の違反によるサプライチェーンからの信頼性低下、および経済的損失	- 気候変動に対する緩和・適応製品、環境負荷低減製品の需要拡大 - 各国の法令等に適合する製品の需要拡大	- 地球環境の保全 - 高効率な生産体制の確立 - 製品・化学物質の安全確保
社会・人（会社と組織） - 品質不正問題の発生 - ダイバーシティの高まり - 労働安全衛生への要求継続 - 社内外における人権尊重と公正な労働慣行の高まり - AIの台頭 - 地政学リスク  関連する資本  	- 品質・安全性能の低下による信用失墜 - 人材の多様性、役職員のエンゲージメント、心身の健康や労働安全衛生を推進できないことで組織能力が停滞 - ビジネスと人権への未配慮による訴訟・行政罰、レピュテーションの悪化 - 原材料調達の不確実性	- 品質・安全性能に優れた高付加価値製品の市場拡大 - 役職員の「仕事のやりがい」「働きやすさ」向上による組織パフォーマンス向上 - 多様性推進、健康経営、労働安全衛生向上による組織能力の向上 - ビジネスと人権への対応による社会からの信頼性向上 - 事業展開地域コミュニティとの交流・貢献	- 製品の価値および信頼性の向上 - 人的資本経営の高度化 - 組織の多様性の向上 - 健康経営・労働安全衛生の推進 - 人権尊重理念の実践 - コミュニティへの貢献
ガバナンス - コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス・リスクマネジメント機能強化継続 - 内部統制不備の発生 - 地政学視点  関連する資本  	- コーポレート・ガバナンスの高度化への対策不備 - 法令違反、不祥事、不備等による大きな損失や企業継続への支障 - リスク認識・評価不足による対策不備	- 監査等委員会設置会社の取締役会の機能としてのモニタリングモデルを継続推進し、企業価値増大 - コンプライアンス徹底、法令違反や不祥事等の未然防止による企業価値の増大 - リスク領域の損失を最小化	- コーポレート・ガバナンスの充実 - コンプライアンスの浸透 - リスクマネジメントの徹底